

外にも知られている」

T「うまい。その調子」

T「このとき、富士山の中腹では、……」

C「このとき、富士山の中腹では、はげしい噴火が始まっていたのである」

T「じょうずだなあ。いいぞ」

T「富士山の地質を調べてみると、……」

C「富士山の地質を調べてみると、数万年ものむかしから噴火をくり返してきたことが分かる」

T「はきはきしていて、いい声だなあ」

T「この文章は、どんなことが書いてあるの」

C「富士山のこと、富士は生きているの……」

T「そう、富士山は生きているんだなあ。どんなことだと思う」

C「噴火している。いつだかわかんねえ」

T「うん、そうだねえ。何回も噴火しているんだなあ」

C「新幹線の窓から見えるんですか」

T「見える、見える。大きいぞ」

C「先生は、登ったことがありますか」

T「いやない。登ってみたいなあ」

C「富士山は、また噴火するんですか」

T「そうだな、今は休んでいるけど、いつ噴火するかわかんないぞ」

と、富士山についての話題が広まり、深まっていた。

● ソフトボールクラブの活動を通して  
クラブ活動の担当と話し合い、勝手な行動をとりやすくルールを乱しがちな本人に、ルールを守ることの大切さを理解させることを主なねらいとして指導にあたった。6年生が去ったあと、だれがそのポジションにつくことができるかがクラブ員の中で大きな関心事である。

C「先生、いつソフトのポジションを決めるんですか」

T「まだまだだよ、みんなの練習を見てから決めようと思っているんだ」

C「ぼく、内野やられますか」

T「やれると思うけど、チームワークが大切だから、少しくらいじょうずでも選ばないかもわかんないよ」

C「……」

T「チームで決めたことをしっかり守る人でないと、チームワークがだめになるからなあ。君はルールを守ってやれるかな」

C「だいじょうぶです。守れますよ」

T「そうか。ソフトボールのルールだけでなくチームで決めた約束だよ」

C「はい」

練習には本気で参加している。しかも2学期終わり近くになった現在、特に熱心に練習し、技能も向上してきた。

時々、担任のところに来て、

C「先生キャッチボールやりませんか」

T「うん、いま忙しいけど少しやるか」

にこにこして、用具を二人分持ってくる。しばらく二人で練習した。

T「じょうずになったなあ」うれしそうに投げ返えず。チームのきまりを守り、準備運動なども率先してやるようになってきた。

### (3) 担任として

#### ● 学級の役割をもたせて

本人にとって大きな問題の一つは、与えられたことを最後までやり通すことができないことである。4月から指導を続けてきたが、相変らず途中であきてしまうことが多い。それで、後期児童会の入部を決定する前、どんな仕事なら最後までやれそうか話し合ってみた。

T「先生はみんなに一つの仕事を最後までやりとげることが児童会で勉強してもらいたいんだけど、君ならどんな仕事を選ぶかな」

C「うさぎかニワトリのような生きものの世話なら続けて世話できると思います」

T「じゃ、飼育委員会の係だね」

C「はい、後期は飼育委員会に入りたいと思います」